

# 高松の❀はおいしい!



## レトロな建物と歴史を感じながら散策

門を入ると訪れた人を誘うかのように、古い煉瓦のアプローチが続き、奥には西洋風木造建築があり、陽光の中にあたたかみを感じながら、どこかヨーロッパの田舎にいるような、そんな思いにさせてくれます。

### 「高松市水道資料館」水道の歴史は江戸時代から

高松市の西部、香東川に架かる郷東橋から上流へ車を走らせること3、4分。白と水色のツートンカラーの色彩さわやかな建物が目に飛び込んできます。「高松市水道資料館」の看板が掛かった門から奥へと古い煉瓦のアプローチが続いています。ツートンカラーの洋館は、大正6年と7年に建設された旧御殿浄水場の事務室とポンプ室。

木造平屋建て瓦葺きの建物は、昭和60年に厚生省の「近代水道百選」に選ばれ、また、平成9年には文化庁の「登録有形文化財」に指定されました。レトロな雰囲気の旧事務室は今は水道のPR館に生まれ変わり、水の恵みや水と暮らしの移り変わりと、水道事業の概況などが分かりやすく紹介されています。

隣の旧ポンプ室は、水道の歴史館として江戸時代の配管図、配水管に使われていた土管や木桶、近代水道創設期に使われていた送水ポンプや工事計画書などが展示されています。江戸時代まで遡る高松市の水道の歴史は、安全でおいしい水として今も受け継がれています。



### 併設

ごてん 御殿浄水場 □1日最大給水能力/27,000m<sup>3</sup> □所在地/高松市鶴市町1360番地

御殿浄水場は「緩速ろ過法」と「急速ろ過法」の2つの浄水処理ができる浄水場です。水源は、香東川伏流水と本津川表流水、そして渇水時などに調整池として利用している御殿貯水池です。西方寺配水池からの自然流下と浄水場配水池からのポンプ加圧により配水しています。

